

2018年度 第6回 常務委員会議事録

日時:2019年5月20日(月)18:30~20:30

場所:帝京平成大学中野キャンパス 1144 会議室

出席者:久田健一郎,高橋 修,青木秀則,伊藤 孝,上栗伸一,小森次郎,清水政義,中林俊明,廣木義久(スカイプ出席),宮下 治,吉本直弘(スカイプ出席),米澤正弘(計 12 名)

議 題

1. 無料購読会員の見直しについて(継続審議)

無料購読会員を対象として,無料購読会員制度の取り止め,有料購読会員へのお誘いに関する文面を確認した。一部,不備が見られたので,再度検討することとした。

2. 学会の財政健全化について(継続審議)

2019年6月刊行の『地学教育』第71巻第4号に挟み込み予定である会員への説明文「学会財政健全化に向けて」,およびこれまでの常務委員会議事録(2018年第3回,第4回,第5回)を確認しつつ,学会の財務状況,『地学教育』の発行形態変更案,および新雑誌の発行予定について再吟味を行った。結果,2019年8月開催予定の評議員会および総会において,常務委員会案として,以下の3点をご説明・提案することとした。1)当学会の財務は会費収入のほとんどを成果刊行費に充てざるを得ず,各種運営にかかる経費を賄えない赤字体質であること,2)一般会員・学生会員・シニア会員向けサービスとして,2019年度以降の『地学教育』の発行は冊子体を改め,完全オンラインジャーナル化とし,それとあわせカラー化とすること,3)これまで手薄と指摘されていた小~高における地学教育や生涯学習としての地学教育へのてこ入れ策として,年2回冊子体の新しい雑誌を刊行することとする。

なお,先の常務委員会においては,新雑誌の発刊は,秋田大会に先だってという合意が得られていたが,2019年8月の総会において2019年度事業計画案・予算案の承認後,と改めることとした。また,次回常務委員会での継続審議にあたり,理系の教育系学会におけるオンラインジャーナルの発刊状況について調査を行うこととした。

3. 2019年度事業計画・2019年度予算について

例年継続していた各種事業に加え,『地学教育』のオンラインジャーナル化・カラー化,新雑誌の発刊事業を盛り込み,予算化することとした。

4. 2019年度地学教育学会海外巡検について

久田会長より,2019年度の海外巡検「韓国巡検」の実施計画についての紹介があった。参加条件等の確認を行った。また,広く広報をしていくこととした。

5. 会勢・財務状況について

入退会の状況,財務状況等,会勢を確認した。入退会状況は以下のとおりである。

入会者・学生会員 吉田晴彦(兵庫教育大学)

退会者 西川 純,和田恵治

次回,2018 年度第7回常務委員会は,2019 年 7 月 19 日(金),帝京平成大学中野キャンパス
1144 会議室にて開催予定.